

分野
計画

消防体制の充実

- 通信指令施設、消防車両、資機材の計画的な更新・増強
- 消防広域化の推進
- 職員の知識・技術の向上



救命率の向上

- 救急車の適正利用の促進
- 応急手当の普及啓発

地域消防力の向上

- 消防団員の確保・教養訓練
- 消防団機械器具・装備の充実
- 消防団組織の確立・地域等との連携

予防体制の充実

- 立入検査の実施



指標 (KPI)

重要業績評価指標	基準値	目標値(令和7年度)
出火件数	35件	28件
軽症者の救急搬送割合	63.0%	61.0%
防火対象物の立入検査件数	175件	180件
危険物施設の立入検査件数	107件	110件

危機管理

4-3

消防・救急救助



基本
方向

火災や自然災害、救助を要する事故などによる被害を最小限にとどめるため、消防・救急救助体制及び火災予防体制を充実します。

現状と課題

災害への備え

近年、地震や台風、集中豪雨などの自然災害が頻繁に発生し、火災、救出救助などの消防需要が高まっています。そのため、職員の技能向上、消防団との連携強化を図るとともに、消防車両や資機材を計画的に整備していく必要があります。

救命率の向上

心臓突然死から救命するため AED (自動体外式除細動器) は、公共施設をはじめ市内各所への設置が進んでいます。目の前で AED を必要とする人に対し、適切な処置ができるよう、応急手当や普通救命講習の受講を促し、救命率の向上に取り組んでいく必要があります。また、軽症者の救急搬送が増加しており、緊急度・重症度が高い傷病者の対応に支障が出る懸念があるため、引き続き、救急車適正利用の啓発を実施

指令業務の充実強化

情報化や高齢化の進展等に伴い、消防へのニーズは高度化しています。そのため、本市では、119番通報が集中した場合の受信能力・処理能力向上や、ICT等を活用した高度な災害対応、デジタル化に対応した消防行政サービスの提供に向け、豊中市(能勢町)、吹田市、池田市、箕面市(豊能町)との指令業務の共同運用を計画しており、令和6年4月からの運用開始をめざします。

